

令和5年第3回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	9	伊勢健一	<p>1 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設について</p> <p>(1) 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設の今後の展開について所見を伺う</p> <p>(2) 地域や猟友会との連携が必要であると考えているが、今後の展開においてどのような連携策を考えているのか、所見を伺う</p> <p>(3) 食育という観点からも、この施設には学校などとの連携も必要であると考えているが、所見を伺う</p> <p>2 廃校の利活用について</p> <p>(1) 現在、利活用が決まっていない廃校の利活用に関する現況について所見を伺う</p> <p>(2) 廃校のある地域との話合いの現況について所見を伺う</p> <p>(3) 廃校の利活用に関する今後の展開について所見を伺う</p> <p>3 教育について</p> <p>(1) 休日における中学校の部活動の地域移行に向けた取組について所見を伺う</p> <p>(2) 小中学校における熱中症対策について所見を伺う</p> <p>(3) 古川総合体育館の改修工事の進捗状況と、工事中の体育館内における指定管理者の業務運営の現況について所見を伺う</p> <p>(4) 姉妹都市と本市のスポーツ少年団などとの交流の現状と今後の展開について所見を伺う</p>
2	25	小沢和悦	<p>1 市内企業等が悩む「人材難」解決策、及び若者の大崎市への定住・移住促進策として奨学金返還支援制度を創設することについて</p> <p>(1) 市長が先進地の実績調査を職員に命じているとすれば、その結果と実施の検討結果を伺う</p> <p>(2) 市内の工業会、建親会、大崎市管工事業協同組合などから人材難の深刻さ、奨学金返還支援制度の創設を望んでいると認識しているが、市長は必要ないと思っているのか</p> <p>2 資材等物価高騰対策について</p> <p>(1) 工事等請負契約後の資材高騰が、地元中小零細企業の経営圧迫原因とならないようなスライド制を実施することについて</p> <p>(2) 国交省通知等で「受注者から、物価賃金等の変動を理由とする請負代金額の変更申請があったときは民間建設工事標準請負契約約款（甲）第31条第1項6号等を踏まえ、柔軟に対応していただくようお願いする」とされているが、資材等高騰が一定基準を超えるときは変更申請を提出できることを徹底しているか</p> <p>(3) 宮城県との足並みをそろえる必要性は何に規定されているか</p> <p>3 市役所新庁舎内ATMの設置場所について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	14	中鉢和二郎	<p>(1) 利用される市民のことを考えず、今の設置場所(狭い通路)を決めたのではないのか</p> <p>(2) 旧庁舎解体に関わる市民説明会の際に出された要望に持ち帰って検討すると答えたが検討したのか</p> <p>(3) 犯罪が発生し、利用者に被害が生じる前に何らかの対応をすべきではないか</p> <p>4 市立学校幹部教職員の飲酒運転が疑われる事故への大崎市の対応について</p> <p>(1) 市民からの疑問の声は届いていないのか</p> <p>(2) 独自調査の結果等について</p> <p>(3) アルコール呼気検査等について</p> <p>1 常襲冠水地帯の I o Tによる監視システムについて</p> <p>(1) 国土交通省は、ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者を 2022 年 3 月より公募し、同年 8 月より実証実験を開始した。</p> <p>目的は、近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっており、国、自治体、民間企業等の様々な関係者が小型、長寿命かつ低コストのワンコイン浸水センサを多数設置し、浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組構築に向け、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものである。</p> <p>本市は、この実証実験に令和 5 年度より参加することとし、追加のモデル地区にエントリーし選定された。</p> <p>この実証実験の詳細内容と現在までの成果について伺う。</p> <p>また、この取組はこれまでも提言してきたとおり、単独の自治体として取り組んでいる事例も多々あり、現在の技術で実現可能であり早期の社会実装が求められるが、今回の国交省の実証実験に参加するメリットはどのような点であるか所見を伺う。</p> <p>また、この取組を進める上で、電子系、情報系の技術職員の存在が必須と考えるが、人材確保策はどのように考えているか所見を伺う</p> <p>2 行政DXの目指す効果について</p> <p>(1) 本市においては、令和 4 年 3 月に大崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画が策定され、行政DXが鋭意推進されていると認識している。</p> <p>それを受けて、新市役所本庁舎の供用開始に合わせ書かない窓口が設置されると共に、市役所本庁舎窓口に行く前に、必要な情報を事前に入力できる大崎市事前申請システムが整備された。</p> <p>また今後、SNSのLINE等を活用したデジタル市役所の導入が計画されている。</p> <p>こうしたDXの取組により、市民の利便性はどれだ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>け向上し、職員の事務に係る負荷は軽減されるのか。また、トータルの行政コストはどれだけ削減されるのか、その根拠、計測方法と具体の削減金額を伺う。</p> <p>もし、現時点で明確にしていない場合は、いつまでに明確にする考えか所見を伺う</p> <p>3 ジビエの里づくりに向けた課題について</p> <p>(1) 9月7日に、旧真山小学校跡地を活用し整備したジビエ食肉処理加工等施設を視察した。施設は計画どおり完成し運用開始の時を待っており、ジビエの里づくりへの期待が高まる。</p> <p>ここまで、初めてのことに尽くしのこの政策課題に真摯に取り組んできた関係の皆さんの努力を高く評価し感謝したい。</p> <p>いよいよ運用開始となるが、まだまだ課題も多いと考える。</p> <p>このスタートダッシュに当たっての課題は何か、所見を伺う</p>
4	4	山田匡身	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) 分かりやすい情報の発信について</p> <p>(2) 地域における子どもの医療連携体制について</p> <p>(3) 児童館や公園の施設の充実について</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) 少人数学級の現状について</p> <p>(2) 情報モラル教育の現状について</p> <p>3 公民館の建て替えの考えについて</p> <p>(1) 鹿島台公民館の建て替えについて</p> <p>4 熱中症対策について</p> <p>(1) 熱中症対策として市の取組について</p>
5	6	法華栄喜	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) スポーツ、芸術、文化等の東北、全国規模の競技会等に出場する子ども（小中高生）への助成金等支援の拡大、拡充について</p> <p>(2) 市有地に設置されている自動販売機を行政財産の公募(入札)による貸付けに随時移行し、子育てへの助成金の財源に充てることは考えていないのか</p> <p>2 松山町駅前の市有地の有効活用について</p> <p>(1) 松山地域の旧町営住宅跡地について、市による宅地造成開発を含めた利活用の考えはないのか</p> <p>(2) マリスの商業予定地の今後の展望は</p> <p>3 デジタルサイネージの有効活用について</p> <p>(1) 新庁舎にはたくさんのサイネージを設置してあるが、有効活用されているようには見えない。7地域の情報発信にも活用すべきと考えるが、今後、どのような情報発信に用いていく考えなのか</p>
6	24	木内知子	<p>1 「聴こえくつきり事業」について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	13	佐藤弘樹	<p>(1) 全国的先進地である山形市の調査と検討結果について</p> <p>(2) 本事業についての認識について</p> <p>2 水害対策について</p> <p>(1) 松山地域の冠水対策について</p> <p>(2) 鹿島台地域の冠水対策について</p> <p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 関連施策の活用及び周知状況</p> <p>(2) 移住定住促進に向けた市独自の取組</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 学校図書室司書支援員の配置状況と開室状況</p> <p>(2) 学校部活動の地域移行推進体制の現況</p> <p>(3) 家庭教育支援の現況と成果</p> <p>(4) 社会教育バスの運用見通し</p> <p>(5) 社会教育事業オンライン化の一環として公民館等でのオンライン研修支援の考え</p> <p>3 子育て支援について</p> <p>(1) 児童館等遊戯室へのエアコン設置状況</p> <p>(2) 鹿島台及び鳴子温泉地域における児童館の在り方</p>
8	2	小嶋匡晴	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて ～子どもや孫と一緒に出かけたい環境整備～</p> <p>(1) バスやタクシー等の利用補助制度を創設し、子育て、孫育て世代の環境整備をすることについて</p> <p>(2) 子育て、孫育てをするための拠点施設や観光拠点施設としての屋内型公園の整備について</p> <p>2 公立病院経営強化プランについて</p> <p>(1) 大崎地域医療体制確立に向け広域連携型の地域医療連携拠点施設の整備について</p> <p>(2) 夜間急患センターの機能と役割、大崎地域1市4町との連携、医療・救急医療体制について</p> <p>3 高齢者の孤独・孤立対策について</p> <p>(1) 高齢者世帯、高齢者単身世帯が今後増加し、終活や引きこもり等の市民相談が増加することが予想される。神奈川県大和市ではおひとりさま支援条例、終活支援条例を制定し、支援に取り組んでいる。本市でも特化した市民相談窓口の設置などが必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>4 大崎市の英語教育について</p> <p>(1) 本市における小中学校の英語教育の現状と取組について</p> <p>(2) 教育日本一を目指す大阪府池田市の英語教育の取組と本市の今後の英語教育について</p>
9	3	小玉仁志	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) 市民ニーズの傾向及びその対応状況について</p> <p>(2) 子育て支援を目的とした財源の確保について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<ul style="list-style-type: none"> (3) ビジョン達成のための手法とその課題について 2 地域住民とともに進める浸水被害対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 河川堤防の管理，現状と課題について (2) 国・県とのコミュニケーションについて (3) 市民，地域との連携状況について 3 将来を見据えた産業振興，誰もがチャレンジできる風土づくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 企業立地等奨励制度の整備状況について (2) 企業誘致戦略の現在の課題について (3) 支援機関との連携，今後の展望について
10	12	八木吉夫	<ul style="list-style-type: none"> 1 道路整備について <ul style="list-style-type: none"> (1) 県道古川一迫線の幅員が狭くなっている北宮沢地区の道路はいつ拡幅になるのか伺う 2 水害被害の防止策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 常襲冠水地区の県道脇の側溝の土砂堆積物撤去の早期達成について伺う 3 入札制度について <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙ポスター掲示板の入札仕様について伺う
11	11	佐藤仁一郎	<ul style="list-style-type: none"> 1 大崎市公民館条例施行規則の使用料の減免の方向性について <ul style="list-style-type: none"> (1) 使用料減免規定を設けている理由を伺う (2) 社会教育法第10条に規定されている，市内に所在する社会教育団体又は地域関係団体に適用していた100%減免割合を50%にする理由を伺う (3) これまで通り100%減免とすべきと思うが所見を伺う 2 高齢者福祉施設の長寿命化に向けた方向性について <ul style="list-style-type: none"> (1) 施設開所から長年経過し，建物や空調，給湯設備等の修繕箇所が多数見受けられる施設が各所で存在する。会派で視察した居宅介護支援事業所「岩出山あったか村」の入浴槽の故障や雨漏り等，利用者へのサービス面からも支障を来している。早期改修を求める利用者に応えるべきと考えるが，所見を伺う (2) こうした施設において，利用者への配慮として故障してから修繕するのではなく，建物や器具の計画的な長寿命化を図るべきと考えるが，所見を伺う 3 大崎市民プールの設備修繕要望について <ul style="list-style-type: none"> (1) 大崎市民プールの利用者から，冷暖房，給湯器，シャワー等の不調に対する苦情が寄せられる。早期に改修すべきであり，所見を伺う
12	23	氏家善男	<ul style="list-style-type: none"> 1 岩出山総合支所の空きスペースの活用について <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会が新庁舎に移転したことに伴い，総合支所の2階部分が全て空くことになったが，今後の施設の活用方針を伺う (2) 玉造商工会への施設の貸与状況について伺う

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>(3) 公共施設貸与時の貸与額の基準及び三本木総合支所の貸与額について</p> <p>2 文化財の保管について</p> <p>(1) 市の文化財について保存の状況と管理状況を伺う</p> <p>(2) 発掘調査による出土品については調査が進んでいるが農具や民具等の一元的な保存が必要では</p> <p>(3) 廃校を利用した農業の変遷，生きた教材への活用について</p> <p>3 水田活用の直接支払い交付金事業について</p> <p>(1) 転作田について交付金を受けるためには，5年に一度の水張りが課せられるが，北海道では既に今年から水張りが行われている。5年の猶予にはまだ2年あると思うが，本県及び本市における実施についての考えを伺う</p> <p>(2) 県内における水張りは同年度一斉に実施するのか</p> <p>(3) 水張りの確認作業について</p>
13	1	藤本勘寿	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) 学生から子育て世代を中心とした若い世代向けへの大崎市のプロモーションの充実について</p> <p>(2) P F I 事業等を活用した官民連携での子育て環境の整備について</p>
14	15	相澤久義	<p>1 食べて守ろう日本の農業（ご飯1杯・おにぎりもう1個運動推進）について</p> <p>(1) 世界農業遺産大崎耕地を有し，持続可能な農業を目指す本市において，まずは消費の拡大のため，学校給食から推進運動を展開し，全国に向けて発信するべきと考えるが，所見を伺う</p> <p>2 世界農業遺産ジビエの里づくりについて</p> <p>(1) 指定管理者と猟友会等が連携し，加工・販売することについて所見を伺う</p> <p>3 多文化共生のまちづくりについて</p> <p>(1) 推進の考え方の所見を伺う</p> <p>4 鳴瀬川・多田川合流地点の支障木伐採について</p> <p>(1) ラブリバー大作戦開始から40年が過ぎ，当初，大木化した木の伐採，繁茂した雑草の刈取りを集落ぐるみの取組で河川の美化運動が行われたが，その後当時の建設省からの指示により環境保全の観点から樹木の伐採ができなくなった。今では，樹木は大木化，繁殖する雑草等，有害鳥獣のねぐらと化し，農業被害も発生している。</p> <p>また，台風等による大雨や洪水の際に，鳴瀬川・多田川の流れが阻害され，樋管の門扉が開けず内水被害も出ている。早期の支障木伐採と河道掘削の計画，あわせて鳴瀬川左岸（城野付近）が一部低くなっているが，改修計画の所見を伺う</p> <p>(2) 鳴瀬川と館山公園は三本木地域のシンボルである。</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	7	石田政博	<p>館山公園は年次計画で整備が進められているが、親水の観点から旧役場前の河川敷は体積土砂を撤去してカヌーや水遊びできる水辺公園として整備できないか伺う</p> <p>5 財政調整基金と私有財産・遊休資産等の処分について</p> <p>(1) 遊休資産とされている旧施設数と面積、箇所、資産総額は。また、処分が難しい理由、課題や問題点は</p> <p>(2) 市有林の伐採計画は</p> <p>(3) 統合した旧小学校、岩出山総合支所の利活用の進捗状況は</p> <p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) 既存の公園遊具のメンテナンス予定について</p> <p>(2) 市有休閑地のポケットパークへの利活用や民間空き家、空き地の活用による集いの場の整備について</p> <p>(3) 大崎市で育ち大崎市に戻って来るための企業誘致や起業支援について</p> <p>2 地域自治組織の活性化の支援状況について</p> <p>(1) 職員伴走支援の現状について</p> <p>(2) まちづくり連絡会議の開催状況について</p> <p>(3) チャレンジ事業交付金等の交付状況と広報について</p> <p>3 指定管理の地区公民館が抱える課題について</p> <p>(1) 社会教育バスの今後について</p> <p>(2) 岩出山有備館駅住民協働館の利活用制限の撤廃について</p>
16	8	早坂 憂	<p>1 学校に通うことができない児童生徒（不登校）へ向けた、大崎市民病院と民生分野のサポート体制について</p> <p>(1) 最近、学校に通うことができない児童生徒（不登校）の原因を探るために、小児科や小児精神科を受診するケースが全国で増えている。調査してみると起立性調節障害という診断を受ける場合がかなり多いようだが、大崎市民病院でも、このような事案はこれまであったか伺う</p> <p>(2) 大崎市民病院の小児科を担当する医師の中で、起立性調節障害に詳しい医師はいるか。また、学校に通うことができずに悩み、身体や精神的不調を疑って来院を希望する方々を専門的に受け入れる体制は整っているか伺う。あわせて、いわゆる不登校外来の必要性を強く感じるが、所見を伺う</p> <p>(3) 小児科の受診と併せて、行動チェック表や知能検査の実施も重要と考えるが、その必要性や重要性を学ぶための研修などはこれまで行われてきているのか伺う</p> <p>(4) 子育て支援課等民生部の体制の中で、発達障害や学習障害、そして気になる特性がある児童生徒の保護者に対して助言やサポートを行う際に、小児科の受診を勧めるなど、大崎市民病院との連携はなされているの</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
17	21	富田文志	<p>か。また、市内各小中学校での指導の中で、同様の連携が整っているか伺う</p> <p>(5) 保護者からは「学校以外でどこに相談していいのかわからず、大変悩んでいる」という声がとても多い。学校に通いたくても通うことができない児童生徒や保護者の悩みを一括で受け止める不登校対策支援課を作り、大崎市民病院をはじめ、関係各所との連携をスムーズに行える体制を整備すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 地域課題について</p> <p>(1) 死亡事故多発横断歩道への押しボタン信号機の設置について</p> <p>ア 死亡事故多発横断歩道に被害者の家族や地域の方々が心を痛めている。発生要因をどのように総括しているか伺う</p> <p>イ 県道古川登米線の田尻駅から田尻町地区までの南側の歩道設置が進んでいるが、町地区までの完成見込みはいつ頃になるのか伺う</p> <p>ウ 歩道設置が進んでもスーパー側から北側への横断者は絶えることがないと思う。高齢化が進み、車で買い物に行けない交通弱者は、横断歩道を利用することになるため、押しボタン信号機の設置が必要であると思うが、考えを伺う</p> <p>(2) スキップパークゴルフ場に休憩所の設置について</p> <p>ア 田尻ほなみ委員会が指定管理を受けているスキップパークゴルフ場は、使用料が安く整備状況が良いため大勢の利用者でにぎわっている。突然の雨や猛暑を避けるための休憩所は、現状は仮設足場パイプで作られている。利用者からは緊急時の避難所にもなる休憩所の設置の要望があると思うが、現状と方向性を伺う</p> <p>イ 地域で必要なものは予算規模にもよるが本庁へ伺いを立てることになる。本庁と支所の間には主従関係があってはならない。より良い連携、事業推進のための考えを伺う</p> <p>(3) ごみ集積場前の私有地を道路として使用していることについて</p> <p>ア 田尻地域の桜田地区、通称あぶら屋敷地内にあるごみ集積所は、私有地の奥の官地に設置されている。私有地は決して広くはないが、そこを利用しないと集積所に行けない。</p> <p>合併前から問題になっていた箇所でも相続登記が行われなかったために、地権者の追跡調査ができないでいると聞いているが、何らかの法的な手続きはできないものか伺う</p> <p>イ 市内には同じような箇所がまだまだあるのではないかと思うが、現状を伺う</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
18	18	横山悦子	<p>ウ ごみ集積所の前は普段道路として使われているが、私有地の部分だけ簡易的に防塵舗装されている。既に長い期間同様の状況にあるが、道路舗装と同じようにはできないものか伺う</p> <p>(4) 耕作放棄地を見過ごさない取組について</p> <p>ア 中山間地だけでなく平地の圃場においても耕作放棄地が見受けられるようになり心配している。1, 2年は草が生い茂っているような状況も、5年, 10年と経過すると木立も生い茂り、大変な状況になっている。</p> <p>所有者の自助努力に期待する以外の方法はないのか。</p> <p>現状と対応状況など課題を伺う</p> <p>イ 今年の夏は記録的な猛暑で、各地で林野火災が発生している。住宅が近くにあると火災についても心配になる。環境だけではなく防災の面からも対応が必要になってくると思うが考えを伺う</p> <p>1 熱中症対策について</p> <p>(1) 第2回定例会で質問した、古川東児童センターと鹿島台中央児童館のエアコン設置への対応について</p> <p>(2) 古川東児童センターと鹿島台中央児童館のサテライト設置の状況について</p> <p>(3) 異常気象による猛暑、公立小中学校と公共施設への冷水機導入について</p> <p>2 共生社会に向けての取組について</p> <p>(1) 新型コロナ以前とコロナ禍の要介護認定数の推移とひとり暮らしの推移について</p> <p>(2) 障害者手帳を交付されていない市民への補聴器導入助成について</p> <p>(3) 介護職員の人手不足対策と介護施設待機状況について</p> <p>(4) 在宅介護支援者の支援と課題について</p> <p>(5) 認知症カフェの状況とサポート養成講座の現状について</p> <p>(6) 徘徊高齢者、ネットワーク事業の活動状況について</p> <p>(7) 徘徊高齢者への二次元コード利用について</p> <p>(8) 緊急通報システムの実状と課題について</p> <p>(9) 孤独や孤立対策について</p> <p>(10) 介護ロボットの導入状況について</p> <p>(11) 介護事業者の表彰制度の導入について</p> <p>(12) 免許証返納者への対応について</p> <p>(13) デジタル申請での要介護認定の手続きについて</p> <p>(14) 高齢者の買い物難民対策について（特に鳴子温泉地域）</p>	
19	5	加川康子	<p>1 多世代で支える大崎市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) 働き方の多様化に伴い、若年層や子育て世代が柔軟</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	16	鎌内つぎ子	<p>に働ける環境，創業等をチャレンジしやすい環境整備を行うことが必要という観点から，以下を問う</p> <p>ア 若年層や子育て世代への創業等支援の現状及び課題をどう捉えているか</p> <p>イ 子育て等と並行可能な複業支援が必要ではないか</p> <p>ウ 時間に制約がある場合等などの働き手のニーズに応じるため，ワークシェアリングできる仕組み作りが必要ではないか</p> <p>2 学校教育の環境整備について</p> <p>(1) 大崎市学校教育環境整備指針は令和5年度が計画の最終年度となっている。未来の担い手である子どもたちにとって，望ましい教育環境整備を図ることが本指針の目的であることを踏まえ，以下を問う</p> <p>ア 第8項教育施設整備の計画的整備について，校舎内外（校庭，遊具等）の点検状況及び修繕，更新状況はどうか</p> <p>イ 次期指針策定に当たり，今期の振り返り及び今後の方針について</p> <p>1 学校給食費無料化について</p> <p>(1) 諸物価高騰の中，子育て中の家庭への支援策について</p> <p>(2) 恒常的に無料化する場合の財源について</p> <p>(3) 国が実施するまでの間，大崎市として可能な範囲での学校給食費の負担軽減を行うことについて</p> <p>2 古川大江川及び栄町の冠水対策について</p> <p>(1) 今の段階で，計画している対策について</p> <p>(2) 川のそばでひとり暮らしをしている高齢者の不安解消策について</p> <p>3 古川東児童センターへのサテライト建設について</p> <p>(1) 今後も児童数増が見込まれる中で，安心できるゆとりある施設整備について</p> <p>4 子育て短期支援事業（ショートステイ）について</p> <p>(1) 保護者の疾病やその他の理由により，家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合や，経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合に対応できる施設や体制づくりについて</p>
21	19	遊佐辰雄	<p>1 ガソリン，灯油等物価高騰から市民生活を守ることに ついて</p> <p>(1) 子育て世帯に対する支援策について</p> <p>(2) 学校給食費の無料化について</p> <p>(3) 福祉灯油制度について</p> <p>2 マイナカードと健康保険証等の不安への対応につ いて</p> <p>(1) 大崎市がマイナ問題に係る総点検の要請を受けたこ とについて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
22	10	鹿野良太	<ul style="list-style-type: none"> (2) マイナ保険証によるトラブルについて (3) 大崎市としての今後の対応について 3 イノシシ対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 被害対策経費の増大に耐えられず、経営破綻する危険があるが、農業法人等と農地を守る対策について (2) 捕獲数を大幅に増やすための対策について 1 N T T 東日本との地域活力の創出に向けた連携協定について <ul style="list-style-type: none"> (1) 協定締結の目的と市長の意気込みを伺う (2) 協定内容にある教育 I C T, 文化財の保存及び観光促進, A I, I o T 等において本市が抱える課題を伺う (3) デジタル田園都市国家構想交付金の申請及び活用状況を伺う 2 日本一の温泉タウン「鳴子温泉」を目指して <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の鳴子温泉郷の長所と課題をどう認識しているか改めて伺う (2) 魅力アップ, 観光宿泊客増加のための施設整備と道路整備の方向性を伺う 3 高齢者の老後満足度向上を目指して <ul style="list-style-type: none"> (1) (内閣府令和3年版高齢社会白書のデータを基に) 本市の老後満足度の現状を伺う (2) 高齢者の貢献感を高めるための本市の取組について 4 古川西部地区の諸課題解決に向けて <ul style="list-style-type: none"> (1) 冠水対策 (特に飯川国道 347 号, 保柳楽々楽館前) の進捗状況を伺う (2) 多田川, 渋川の災害復旧及び整備状況を伺う (3) 防雪柵設置の進捗状況を伺う 	